

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月28日

計画の名称	美原都市拠点におけるまちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくり													
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	堺市													
計画の目標	堺市マスタープランにおいて「美原都市拠点」と位置付けられている当該地区は、本市の都心連携軸と東部新都心軸及び南河内地域との結節点に位置し、政令指定都市・堺にふさわしい総合的なシンボルゾーンとするべく、土地区画整理事業手法を用いてまちづくりを行う。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		606	A	606	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初		H31末
1	公共施設の効果的な整備により、快適で安全な道路空間を形成する。 土地区画整理事業により新たに整備した公共施設率 整備済公共施設整備面積/整備予定全公共施設面積	0%	0%	100%
2	宅地整備や公共施設の効果的な配置により、宅地の利用増進を図る。 土地区画整理事業における使用収益可能宅地割合 使用収益可能宅地整備面積/事業区域全体面積	6%	6%	69%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
・排水工事を先行して行い、道路・公園はH30予定。・最終69%は宅地以外の公共施設、公園緑地や調整池等があるため								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	堺市	間接	堺市	区道	改築	堺市黒山西土地区画整理 事業	土地区画整理事業(11.4ha)	堺市						606		-
											小計						606		
											合計						606		

交付金の執行状況

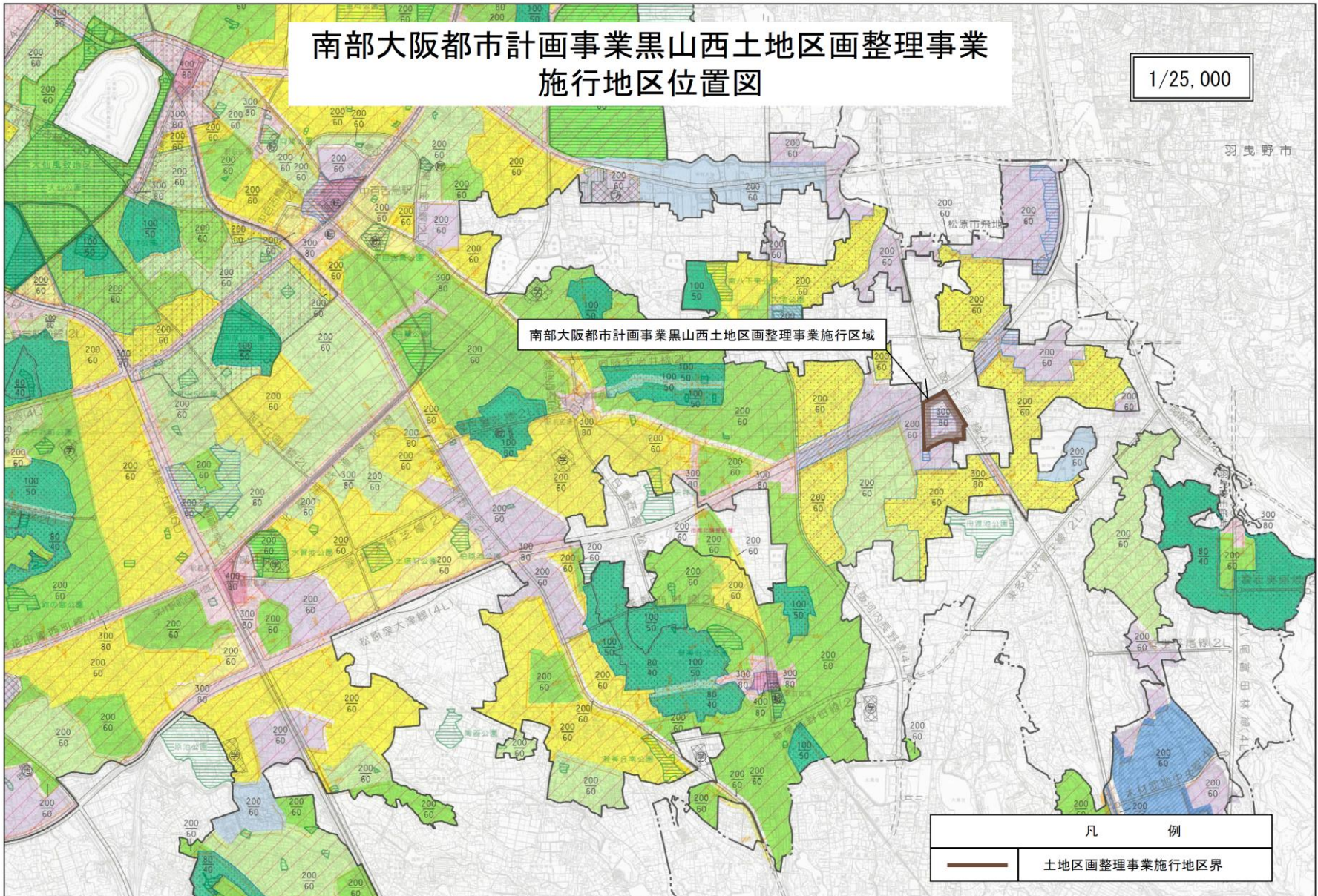
(単位：百万円)


	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	1	62	121	119	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1	62	121	119	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	121	
支払済額 (e)	1	62	0	121	
翌年度繰越額 (f)	0	0	121	119	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 南部大阪都市計画事業黒山西土地地区画整理事業 施行地区位置図

1/25,000

南部大阪都市計画事業黒山西土地地区画整理事業施行区域



凡 例	
	土地地区画整理事業施行地区界



# 南部大阪都市計画事業黒山西土地区画整理事業

## 設計図 S=1:2,000



凡 例	
	施行地区界
	都市計画道路
	区画道路
	特殊道路
	公園

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 美原都市拠点におけるまちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 堺市総合計画の方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 関連する各種計画との整合性が確保されている。(都市計画マスタープラン、堺 都心のまちづくりプラン等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 2) 事業実施について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 事業推進に向けた地元の機運が醸成されている。	○